

第104回運営委員会概要 7月20日(水) 18:30～21:30

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 研修室
 - ◆出席委員：新野・佐藤・川口・竹内・武本(和)・前田運営委員・・・6名
 - ◆オブザーバー：保安院／竹本所長・岡野副所長 エネ庁／磯部所長
新潟県／春日主任 東電／長野副所長・西田技術担当・宮武
 - ◆事務局：広報センター／井口業務執行理事 石黒主事
-

視点49号(第96回定例会分)について

〈議長〉編集後記の文章内容について確認をしてもらいたい。

〈事務局〉事務局から投稿者へ内容の再確認を行いたい。

- ・原稿を委員で確認
- ・事務局案を更に校正して校了

今後の会の予定について

◆8月定例会の内容について

〈議長〉今後の会の予定について。視察を盛り込むのであれば今のうちに計画を立てなければいけないし視察を行わないという選択もある。具体的に決めなければならないのは8月定例会の内容についてだがどうか。

〈委員〉震災後さまざまな問題が起きている。つい最近では牛肉や稲わらからセシウムが検出されたことについて、地域の会でそのことを話題にしてもいいのか、今後も起きてくる問題を取り上げることはいいのか、悪いのか、どう判断したらよいか。

〈委員〉原子力発電に関わる問題として話題にすることはいいのではないのか。

〈委員〉計画避難区域の外で起きていることをどこの範囲まで取り扱うのかという問題もある。

〈議長〉5月定例会で、今後どのようなことを知りたいか、教えてほしいか、議論していきたいかと委員から意見を出してもらった。それを精査し、その中からいくつか切り分けて話し合いをもつという方向性は元々あった。牛肉、稲わらも広い意味で放射線のくくりに入れ、8月に放射線について情報提供を受けながら話し合うというのはどうか。

〈委員〉福島の問題が収束もしていない、今後の原子力がどのような方向に向かうのかははっきりしていない中で、地域の会としてどのようにや

っていくのか問われているのではないか。

〈委員〉発電所がある以上、今後も放射線と防災のことについて学び、議論や意見を発信していかなければならないと思う。

〈議長〉いろいろな情報がメディアから出され、様々な見解が専門家から出され、情報が錯綜している。事実を東京電力から説明してもらうことはできないか。

〈東京電力〉報告できる数値がまだない。現在福島原子炉建屋の上空からヘリコプターで計測をしている。計測値はすべて発表している。

〈委員〉そういう状況を市民も知りたいのではないか。

〈東京電力〉福島の収束への道のりということで計測値についての説明と報告をしたい。

我々としては、8月は前回定例会で意見のあった、「福島第一発電所の水素爆発はベントが原因だったのではないか」との質問についての説明を、また9月は断層のことについて、10月は防潮堤のことをそれぞれ説明させていただきたいと考えている。

〈新潟県〉質問のあった、食品中に含まれる放射能の測定結果、空気中の放射能測定量について、ホームページでお知らせしていることなど次回定例会でお話ししたい。

〈議長〉最近の定例会は、意見表明が主になっていてディスカッションにはなっていない。議論を深める内容を切り分けて、意見交換や委員同士のフリートークをしないとオブザーバーから有用な答えや検証を引き出すことはできない。

〈委員〉全体の関心事ではないかも知れないが、例えば牛肉や稲わらの話は誰が答えるのか。

〈議長〉県内のことで県に回答してもらえることは、回答してもらうことができるのではないか。

〈委員〉例えば、避難区域の場合は仕方がないと誰もが思うだろうが、全く汚染されていないと思っていた宮城の登米市の稲わらが汚染されていたことはどう理解したらいいのか、どこに聞けばいいのか。

〈委員〉国会でさえそれについて答えられない。

〈委員〉今までのことについては会の中である程度の議論はできたが、今回のことについては議論もできない。

〈保安院〉汚染ということではどこが担当ということはないと思う。どういう道筋でどういう結果になったのか説明できるかどうかかわからないが資料を調べてお話しできることがあればお知らせしたい。

〈委員〉新聞報道では、稲わらをよく調べたら福島や茨城からのものだったという。詳細はまだはっきりしていないかも知れない。

〈議長〉稲わらの汚染の件については運営委員会からの意見ということで質疑の時間に織り交ぜたいと思うがどうか。

(委員賛成)

〈委員〉質問して答えられることは答えてもらい、答えられないことについては誰が担当でどんなふうに調べるかを話してもらえばよい。担当がなければならないということをはっきりさせることも会としての役割だと思う。

〈議長〉答えが出せないというのもあると思う。この会では住民が何を疑問に思うのか、何に関心があるのかというのを、それぞれにわかってもらえる議論を積み重ねることが主旨。

〈議長〉定例会の開始時間は内容も多いが午後7時からでよいか。今後はどうするか。

〈委員〉運営委員会から9月から30分繰り上げて午後6時30分開始を提案したい。

(委員賛成)

◆ 9月以降の予定について

〈議長〉9月以降の内容について。勉強会をどこかに入れたほうがよいか。

〈委員〉刻々と状況が変わっている中で勉強会を入れる必要があるのか。

〈委員〉少し状況がはっきりしてくるまでは勉強会をやっても意味がないのではないか。

〈委員〉ストレステストはどんな内容なのか。

〈保安院〉基準地震動が何倍になったらこの発電所は耐え切れないかという内容。どこの断層が動くかとかそういう内容ではない。

〈議長〉地震や原子力に特化しているわけではないが、危機管理のことを勉強してみるのもいいのではないか。

〈委員〉県の技術委員会の委員長や座長など何名かの方々にきていただいて意見交換のようなものをもう一度考えてもらうことは可能か。

〈委員〉議題は検討しながら、今の状況にふさわしい内容を考えていけたらいいのではないか。

〈議長〉それが可能ならば福島の見察はどうするか。

〈委員〉福島の地元の人たちから直接話しが聞けるようであればよいが、それが叶わないのであれば行く意味はないと思う。

〈委員〉実際に福島から避難してきている人との交流もできるのではないか。避難するまでの様子やどんなことがあったのか聞けると思う。

〈議長〉福島への視察の件はいったん保留にして、もう少し情報収集をして精査したほうがよいと思うがどうか。

(委員賛成)

〈議長〉県の技術委員会の方たちとの意見交換会というのは定例会に重ねた

ほうがよいか。

〈委員〉夜の会議に参加していただくのは相手の都合もあるだろうし別に考えたほうがいいのではないか。

（委員賛成）

〈新潟県〉今の内容については持ち帰って検討したい。また委員からいただいた山崎委員長への質問についても課内で検討したい。

【決定事項】

・県の技術委員会小委員会の委員長または鈴木座長との意見交換会を県に希望（10月か11月頃）

（8月定例会内容について）

- ・ストレステストの概要について保安院より説明。
- ・「前回の動き」と別枠で福島状況と委員質問の回答について東京電力より説明。
- ・避難区域外で起きた牛肉や稲わらの放射能汚染のことを運営委員会の意見として提案する。
- ・9月以降、定例会の開始時間を30分早めて午後6時30分に開始するよう運営委員会から提案する。
- ・福島への視察は保留とし、もう少し時間をかけて精査する。

〈8月3日定例会・タイムスケジュール（案）〉

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 19:00～19:30 | 前回からの動き（東京電力、保安院、行政） |
| 19:30～19:40 | ストレステストについて（保安院） |
| 19:40～20:00 | 福島状況、前回定例会の質問に対する回答（東京電力） |
| 休憩 | |
| 20:05～21:00 | 質疑 |

次回運営委員会日程について

- ・8月17日（水）18:30～ 柏崎原子力広報センターにて